

授業科目名	プロポーション美学	講師名	山田 奈生子
実施 学科・クラス	モデル科	分別(必修・選 択・自由選択)	必修
授業方法(講 義・演習・実 技)	講義、演習、実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	モデル、俳優などの表現者の仕事を理解し、それを目指していくために必要な日々の取り組みを知る。表現者として様々なイメージを理解し表現できる。撮影を通じポートフォリオを作成する。		
授業の到達目 標・テーマ	肌質にあったスキンケアやメイク、ヘアアレンジ、ベストカラーや骨格診断など、セルフイメージを理論とともに完成させる。オーディション用ナチュラルヘアメイクのほか、ファッションイベントやイメージ別撮影に向けてヘアメイクや衣装、ポージングなど提案し表現できる。		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	ブラシセット、メイクアップパレット		
授業課題	メイクテクニック等の授業課題あり		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/前期/35時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1回	4月13日	前期オリエンテーション	モデルとしての心構え、授業受け方、ポートフォリオの必要性
2回	4月20日	スキンケア	肌質とスキンケア、栄養素、ボディケア
3回	4月27日	ヘアアレンジ	ヘアアレンジ、洗髪などのヘアケア、顔型と髪型の関係
4回	5月11日	ベストカラー診断、似合う色に依るイメージコーディネート	ベストカラーの必要性、カラーコーディネート
5回	5月18日	骨格診断、ボディバランスから似合うイメージ	骨格バランスから似合う洋服スタイリングへの導き
6回	5月25日	顔のゴールデンプロポーション	顔バランスを計測しながら必要なメイクについて理論と実習
7回	6月1日	ナチュラルメイク実習1	ベースメイク、アイブロウメイク 基本理論と実習
8回	6月8日	ナチュラルメイク実習2	アイメイク、リップ、チーク 基本理論と実習
9回	6月15日	イメージ別メイクテクニック、ヘアアレンジ 1	後期作品に向けて撮影イメージ紹介、スペシャルヘアメイク実習
10回	6月22日	イメージ別メイクテクニック、ヘアアレンジ 2	後期作品に向けて撮影イメージ紹介、スペシャルヘアメイク実習
11回	6月29日	オーディション用ナチュラルメイク実習撮影1に向けて	撮影1に向けてヘアメイク実習練習、衣装選択
12回	7月6日	撮影1	撮影実習
13回	7月13日	前期振り返り、後期に向けて	撮影1振り返り、後期授業内容に向けて
14回	7月20日	前期試験実施	前期試験
[成績評価方法]			
授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。 なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介]			
モデルとして、様々なイメージを理解し表現することができるように基本理論を教えて実習を行う。 担当教員は、有名タレントの写真集や、東芝、任天堂、有名化粧品などの広告やテレビCM等を手がける、業界第一線で活躍するヘアメイクアップアーティスト。業界最先端の知識や技術を指導する授業を展開する。			

授業科目名	PCワーク(金曜)	講師名	福嶋 哲平
実施 学科・クラス	モデル科	分別(必修・選 択・自由選択)	なし
授業方法(講 義・演習・実 技)	実技	場 所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	Windowsパソコンの基本的な操作方法と、Office (Word・Excel・Powerpoint) の使い方		
授業の到達目 標・テーマ	Windowsパソコンの基本操作の習得。 業務内容に最適なビジネスソフトの判断と使用(文書制作・数字管理・プレゼン)。 基礎的なビジネススキルのおぼろげ		
企業連携 (連携企業)	特になし		
使用教科書 他教材	Windowsパソコン、各種ソフト(Office、タイピングソフト)、USBメモリー		
授業課題	授業で作成したデータを課題として提出する		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/前期/37.5時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月10日	Windowsパソコンの基本操作	フォルダの理解、USBメモリ操作、基本のタイピング
2	4月17日	タイピング練習	ホームポジションの理解、タイピングソフトを使った入力練習
3	4月24日	Wordを使ったビジネス文章作成	フォントや文字飾り、画像の挿入の仕方。案内状の作成
4	5月1日	Wordの用紙・レイアウト変更	ポートフォリオの作成
5	5月8日	Excelを使った表の作成	文字入力や罫線を引いての表の作成
6	5月15日	タイピングのミニテスト	ブラインドタッチでの文字入力テスト
7	5月22日	Excelの基本操作	四則計算を使った表の作成
8	5月29日	Excelを使った商品管理表の作成	関数を使った表の作成(SUM、AVERAGE、MAX、MIN)
9	6月5日	Excelを使ったリサーチ資料の作成	表の作成とそれを元にした各種グラフの作成
10	6月12日	Excelを使った企画書の作成	文章、表、グラフを盛り込んだ企画書の作成
11	6月19日	Powerpointデータの作成	プレゼンデータ作成の基礎(ページ作成、文・図の配置)
12	6月26日	Powerpointデータの作成	プレゼンデータ作成の応用(ノート・発表者モード)
13	7月3日	テスト	実技試験(Word・Excelデータ作成)
14	7月10日	Powerpointを使ったプレゼンテーション	プレゼンテーションの実施
15	7月17日	前期修了ショー	学校イベント
[成績評価方法]			
<p>授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。</p> <p>なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。</p>			
[授業の特徴・形式と教員紹介]			
<p>担当教員は元株式会社アスキーの編集者として勤務した経験があり、Windowsコンピュータやビジネスソフトの取り扱いを経験に基づいた授業を展開する。</p> <p>授業を展開する。</p>			

授業科目名	卒業制作ファッションショー制作実習	講師名	石川／荒井／吉岡／山内／梨本
実施 学科・クラス	モデル科	分別(必修・選 択・自由選択)	必修
授業方法(講 義・演習・実 技)	実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	3月の卒業制作ファッションショーに向けた準備・企画立案・実行、ファッションモデルとして参加する。		
授業の到達目 標・テーマ	企画立案からプレゼンテーションの流れ。実行までの知識習得 各係ごとの作業を通して、イベントの流れ、使用機材の知識習得・技術向上を目指す 複数人での企画実行及びコミュニケーション能力向上も目指す		
企業連携 (連携企業)	なし		
使用教科書 他教材	なし		
授業課題	係、役職ごとに課題を与えて、プレゼンを行う。		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/後期/60時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	9月	授業内容説明・スケジュール確認等	授業説明 及びリーダー投票・決定
2			各係決定→係ごとリーダー決定
3			ショー全体テーマに向けた企画立案&係作業
4			↓
5	10月		↓
6			↓
7			↓
8			↓
9	11月		↓
10		ショー全体テーマプレゼン	全校ショー全体テーマプレゼンテーション実施
11			係ごと打ち合わせ&前期終了ショー準備
12			↓
13			↓
14	12月		↓
15			
16		BSショー本部設立	ショー全体リーダー選出及び最終係決定
17			
18	1月		各係ごと作業
19			↓
20			↓
21		プレゼン実施	ファッションモデルとして準備
22	2月		
23			
24			
[成績評価方法]			
授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。 なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介]			
デザイナー、商品企画、スタイリストとして業界で活躍した教員が5名、この授業を担当し、それぞれの専門分野の視点で指導を行う。 卒業ファッションショーの発表会に向けた授業展開をする。			

授業科目名	英会話	講師名	Stephen Spencer(スティーブン・スペンサー)
実施 学科・クラス	モデル科	分別(必修・選 択・自由選択)	必修
授業方法(講 義・演習・実 技)	演習	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	日常英会話の基本を学ぶ。		
授業の到達目 標・テーマ	日常の英会話で簡単なコミュニケーションができるようにする。		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	オリジナルプリント		
授業課題	英会話の応答を毎回、行う。		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/前期/35時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月	Self-introduction. Human bingo.	自己紹介の英会話
2		Nice to meet you. Introductions, jobs etc	挨拶の英会話
3	5月	Clothing items. Colours. Patterns	自分のコーディネート話す1
4		Materials. Washing.	自分のコーディネート話す2
5		Co-ordination. Advice. Matching.	英会話により意見交換する
6		Styles and trends 1	今の流行、ファッション話す1
7	6月	Styles and trends 2	今の流行、ファッション話す2
8		Styles and trends 3	今の流行話す3
9		Describing People.	英語で説明してみる1
10		Describing People.2	英語で説明してみる2
11	7月	Places, shopping, routines, how often.	日常英会話の様々な表現1
12		Places, shopping, routines, how often.2	日常英会話の様々な表現2
13		Travel. Requests, etc	旅行英会話1
14		Travel. Requests, etc2	旅行英会話2
[成績評価方法]			
<p>授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。</p> <p>なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。</p>			
[授業の特徴・形式と教員紹介]			
<p>授業は日本語を原則として使わないで、簡単な英単語を使用して、自己紹介からファッション業界の現場で役立つ英単語・英会話を学ぶ。</p> <p>担当教員はイギリス人で、長年、日本で翻訳やナレーターとして活躍し、正しい発音での英会話を指導する。</p>			

授業科目名	演技実習	講師名	田口 萌
実施 学科・クラス	モデル科	分別(必修・選 択・自由選択)	必修
授業方法(講 義・演習・実 技)	実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	台本を用いて台詞を言える、想像力を活かした身体表現および感情表現のパフォーマンスを実現する為の実技		
授業の到達目 標・テーマ	1. はっきり明瞭に聞き取れる発声・滑舌の基礎力を身に付ける 2. 身体全体を自由に動かし、表情筋を使って感情豊かに演技できる柔軟性を養う 3. 与えられた演技課題に意欲的に取り組める積極性を養う		
企業連携 (連携企業)	特別講師:劇団 球(演技)/フォレストフレンズ(殺陣・現代アクション)		
使用教科書 他教材	劇団 球研究生用テキスト「エチュード」、滑舌課題(例:外郎売)・舞台演劇台本・映像ドラマ台本・俳優との演技セッション		
授業課題	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師による授業(現代アクション)の場合は、同授業中に各生徒の取組姿勢などをチェックして記録する 実技や実践授業のあとは、各生徒にレポートを書かせて、理解度を確認し、評価・採点の対象とする 実技課題の発表や試験ごとに、評価記録を作成し、採点の際に用いる 		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/前期/37.5時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月9日	モデルの表現力にはなぜ演技が必要なのか	自己紹介・モデルという職業についての講義
2	4月16日	自己表現の為の発声と滑舌訓練	腹式呼吸/基礎滑舌/テキスト課題音読
3	4月23日	滑舌訓練>舌根を鍛え、豊かな表情をつくる	基礎錬(滑舌テキスト・「外郎売」音読)
4	4月30日	映像ドラマ台本を演じる(読み・動作)	基礎錬・映像ドラマ脚本読み合わせ・台詞を覚えて動く
5	5月7日	映像ドラマ台本を演じる(読み・動作)	〃
6	5月14日	■現代アクション>演技に必要な身体表現	現代アクションの基礎を習得する:特別講師指導
7	5月21日	舞台演劇台本を演じる(読み・動作)	基礎錬・さまざまな台本を読む・台詞を覚えて動く
8	5月28日	舞台演劇台本を演じる(読み・動作)	〃
9	6月4日	台本を執筆・創作する>創意工夫で表現する	基礎錬・自ら考え想像し、自由に演じてみる
10	6月11日	課題「An escape(エスケープ)」立ち稽古1	基礎錬・演じる>実習1
11	6月18日	課題「An escape(エスケープ)」立ち稽古2	基礎錬・演じる>実習2
12	6月25日	課題「An escape(エスケープ)」発表	基礎錬・課題作品を演じる>実習3
13	7月2日	演技の集中力を体感する	現役俳優(アシスタント)を相手に演じる
14(※)	7月9日	前期・演技実習まとめ>理解達成度の確認	基礎錬・実習の振り返り/レポート作成・提出
15	7月16日	■現代アクション>演技に必要な身体表現	現代アクションを習得する:特別講師指導
後期1(予)		前期取り組みの強化および応用実技	基礎訓練の継続/台本を用いた演技課題
後期2(予)		最終試験課題として作品を創作・発表する	グループワークで作品を創る/最終レポート提出
[成績評価方法]			
授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。 なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介]			
映像ドラマや舞台演劇の台本による演技の基礎訓練を行う。最終課題はグループワークで作品を創作・発表する。 担当教員は、劇団「球」を主宰する女優であり、定期的に舞台公演を行っている。演劇の指導者として、演技の基礎からアクション表現も指導し 最終試験課題としてグループ作品を創作・発表する。			

授業科目名	ウォーキング&ポージング	講師名	津曲久美子、寺山由記、竹田紗耶香
実施 学科・クラス	モデル科	分別(必修・選 択・自由選択)	必修
授業方法(講 義・演習・実 技)	実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	正しい姿勢と美しい歩き方、ポージングを身に付けて、一生の財産となる「美」に関するノウハウを習得する。		
授業の到達目 標・テーマ	モデル、俳優としての美しい歩き方、ポージングを身に付ける。		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材			
授業課題	ウォーキング、ポージング他、シーンに合わせて、表現出来ているかを課題とする。		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/前期/37.5時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月	自己紹介、授業内容説明、個人面接	
2			採寸(ビデオ撮影)
3			ウォーキングの基本
4			基本姿勢・おじぎ・イスの座り方
5	5月		1/2、1/4ターン、1回転
6			
7			顔の表情、ポーズ練習
8	6月	浴衣の着付け、たたみ方	
9		きものの歩き方	
10		テスト	採寸(ビデオ撮影)
11			
12	7月		
13			採寸(ビデオ撮影)
14		オーディション対応、ウォーキング	
15			
		*後期授業は週2回授業となる	
[成績評価方法]			
授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。 なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介]			
正しい歩き方、ポージングの基本をビデオでチェックしながら身につけていく。担当教員は準ミスユニバース日本代表を務めた業界の第一人者をはじめ、モデル経験豊富な3名で指導していく。			

授業科目名	メイクアップ	講師名	柏木 美経
実施 学科・クラス	モデル科	分別(必修・選 択・自由選択)	必修
授業方法(講 義・演習・実 技)	実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	フルメイクのための基礎テクニックを学ぶ。		
授業の到達目 標・テーマ	1. フルメイクの為の基礎知識の習得。 対人の顔をメイクする実践テクニックの習得。 3. 将来の職種にリンクする、メイクにも精通した知識、技術を養う。 や社会人として通用する自身の身嗜みとして役立てる。		2. 4.就職活動
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	講師オリジナルテキスト、資料、学校用意メイク用具、講師提供メイク用具		
授業課題	スタイル画、メイクデザイン画を課題とする。		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/後期/27.5時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	12月	オリエンテーション クレンジング～スキンケア	指針・習得目標 メイクの落とし方～肌の整え方
2		ベースメイク	肌づくり ベース・ハイライト・シャドー トラブルカバー
3		アイブローメイク	眉の印象別パターン リシェーブの仕方
4			
5	1月	アイメイク	目の印象別パターン ライン・ビューリング・マスカラ 色別印象
6			
7		チークメイク リップメイク	チーク 顔形別・印象別パターン リップ ライン別パターン 色別印象
8			
9	2月	CMプラン コレクションプラン	作品の為の企画書・メイクデザイン画・スタイル画の制作
10			
11		実技テスト	プランに基づき作品制作 技術の集大成
[成績評価方法]			
授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。 なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介]			
実技を通してフルメイクの基礎テクニックを習得していく。 担当教員は、メイクアップの第一人者として現場でも指導的な立場であり、ステージメイクにも応用できるテクニックを指導する。			

授業科目名	フォトセッション	講師名	津曲久美子、寺山由記、竹田紗耶香
実施 学科・クラス	モデル科	分別(必修・選 択・自由選択)	必修
授業方法(講 義・演習・実 技)	実技(撮影)	場 所 (校内・校外)	校内(70%)・郊外(30%)
授業科目 概要	プロのカメラマンとのコラボレーション授業。表情&ポーズを巧みに変えて、表現する		
授業の到達目 標・テーマ	50種類以上のポーズが取れる事。芝居、表情、表現ができるようになる。		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材			
授業課題	50種類以上のポーズが取れる事。芝居、表情、表現ができるようになる。		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/87.5時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月14日		自己紹介、個人面接
2	21日	基本の撮影	
3	28日		
4	5月12日		
5	19日	コンボジット作成の為の撮影	ポーズ練習・実技
6	26日		
7	6月2日	ロケ撮影	
8	9日		
9	16日	浴衣の着付け、たたみ方	
10	23日	浴衣の着付け、たたみ方 (撮影)	
11	30日	テスト	
12	7月7日		
13	14日		
14	9月1日	テーマを決めて撮影	
15	8日	カジュアル	
16	15日	雑誌系	
17	29日		
18	10月6日		
19	13日	ウェディングドレスの撮影	
20	20日	〃	
21	11月10日	課外授業	展示会、アート展、etcへ
22	17日		
23	24日		
24	12月1日	ロケ撮影	
25	8日		
26	15日		
27	22日		
28	1月12日	ブック用作品作り	
29	19日		
30	26日		
31	2月2日	撮影	
32	9日		
33	16日		
34	23日	テスト	
35	3月2日		
[成績評価方法]			
授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価			

を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。

[授業の特徴・形式と教員紹介]

担当教員は準ミスユニバース日本代表を務め、「全日本国民的美少女コンテスト」受賞者へのウォーキング指導など、モデルとしての指導を行っている。プロカメラマンとコラボをして、シャッター音に合わせて、表情やポーズを巧みに変えていく技術を習得する。

授業科目名	ダンスレッスン		講師名	浅井みどり
実施 学科・クラス	モデル科		分別(必修・ 選択・自由 選択)	必修
授業方法(講 義・演習・実 技)	実技		場所 (校内・校 外)	校内
授業科目 概要	ダンスの基礎から応用まで、幅広く習う事によって、身体で表現する事の喜びや、基礎身体能力をのばす。			
授業の到達目 標・テーマ	ジャズダンスの基礎を学び、音楽に合わせたダンス表現を習得する。			
企業連携 (連携企業)				
使用教科書 他教材				
授業課題	ショーとして発表する。			
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)		2020年度/95時間	
授業計画及び学習の内容				
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容	
前期	1	自己紹介、一年の流れ、音楽とダンスの基礎知識	音楽やダンスのジャンル分けから実技まで。	
	2	HipHop Jazzの基礎、身体作り	HipHop Jazzダンスの基礎トレーニングと演習(振り付け)	
	3	HipHop Jazzの基礎、身体作り 2	HipHop Jazzダンスの基礎トレーニングと演習(振り付け)2	
	4	HipHop Jazzの基礎、身体作り 3	HipHop Jazzダンスの基礎トレーニングと演習(振り付け)3	
	5	HipHop Jazzの基礎、身体作り 4	HipHop Jazzダンスの基礎トレーニングと演習(振り付け)4	
	6	HipHop Jazzの基礎、身体作り 5	HipHop Jazzダンスの基礎トレーニングと演習(振り付け)5	
	7	HipHop Jazzの基礎、身体作り 6	HipHop Jazzダンスの基礎トレーニングと演習(振り付け)6	
	8	前期ショーへ向けての製作 1	HipHop Jazzダンスの基礎トレーニングとショーの振り付け1	
	9	前期ショーへ向けての製作 2	HipHop Jazzダンスの基礎トレーニングとショーの振り付け2	
	10	前期ショーへ向けての製作 3	HipHop Jazzダンスの基礎トレーニングとショーの振り付け3	
	11	前期ショーへ向けての製作 4	HipHop Jazzダンスの基礎トレーニングとショーの振り付け4	
	12	前期ショーへ向けての製作 5	HipHop Jazzダンスの基礎トレーニングとショーの振り付け5	
	13	前期ショーへ向けての製作 6	前期期末テストと、前期ショーへ向けての指導	
後期	14	jazz danceの基礎、応用、身体作り	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習	
	15	jazz danceの基礎、応用、身体作り 2	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 2	
	16	jazz danceの基礎、応用、身体作り 3	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 3	
	17	jazz danceの基礎、応用、身体作り 4	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 5	
	18	jazz danceの基礎、応用、身体作り 5	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 6	
	19	jazz danceの基礎、応用、身体作り 6	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 7	
	20	jazz danceの基礎、応用、身体作り 7	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 8	
	21	jazz danceの基礎、応用、作品作り 1	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 9	
	22	jazz danceの基礎、応用、作品作り 2	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 10	
	23	jazz danceの基礎、応用、作品作り 3	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 11	
	24	jazz danceの基礎、応用、作品作り 4	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 12	
	25	jazz danceの基礎、応用、作品作り 5	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 13	
	26	jazz danceの基礎、応用、作品作り 6	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 14	
	27	jazz danceの基礎、応用、作品作り 7	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 15	
	28	jazz danceの基礎、応用、作品作り 8	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 16	
	29	jazz danceの基礎、応用、作品作り 9	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 16	
	30	jazz danceの基礎、応用、作品作り 10	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 17	
	31	jazz danceの基礎、応用、作品作り 11	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 18	
	32	jazz danceの基礎、応用、作品作り 12	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 19	
	33	jazz danceの基礎、応用、作品作り 13	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 20	
	34	jazz danceの基礎、応用、作品作り 14	jazzダンスの基礎トレーニングと振付演習 21	
	35	jazz danceの基礎、応用、作品作り 15	後期実技テストと、1年で学んだ事のまとめ	
	36	jazz dance発表		
	37	jazz dance発表		

[成績評価方法]

授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。

[授業の特徴・形式と教員紹介]

身体作りから始めて、基礎トレーニングを繰り返してダンスを習得していく。

担当教員は、プロダンサーとして、舞台やテレビ、ステージで活躍。アーティストのダンス指導や振り付け、演出なども手掛ける。その経験を活かし、身体表現としてのダンスを指導していく。

授業科目名	フォトテクニック	講師名	小林 紋子
実施 学科・クラス	モデル科	分別(必修・選 択・自由選択)	必修
授業方法(講 義・演習・実 技)	講義・演習・実技	場所 (校内・校外)	校内・校外
授業科目 概要	デジタルカメラの基本操作～応用まで、動画作成、画像修正、コンポジット作成		
授業の到達目 標・テーマ	写真撮影、動画作成、写真画像修正、コンポジット作成の基礎知識の取得		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	KISSデジタル1眼レフカメラ、撮影ライト機材(リングライト)、レフ版、プリント		
授業課題	動画を編集してプレゼンする。		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/37.5時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月8日	カメラの取り扱い方、写真撮影の基本、アングル	カメラの取り扱い方を学びつつ、アングルについての見え方の違いを学ぶ(巣鴨商店街へ撮影)
2	4月15日	画像修正	フォトセッションのデータを使用して画像修正
3	4月22日	画像修正、コンポジット作成	フォトセッションのデータを使用して画像修正、コンポジット作成
4	5月13日	演出、隠語、外観撮影、ステップ、ポートレート、カメラマン	スクリーンを使用しながら基礎知識を学ぶ
5	5月20日	動画作成	動画作成の説明、企画書作成
6	5月27日	動画作成	動画素材撮影
7	6月3日	動画作成	動画素材撮影、動画編集
8	6月10日	校内行事(スポーツイベント)	校内行事の日程が変更の場合は動画編集を行います
9	6月17日	動画作成	動画編集、スクリーンを使用してプレゼン、批評
10	6月24日	画像修正	フォトセッションのデータを使用して画像修正
11	7月1日	画像修正、コンポジット作成	フォトセッションのデータを使用して画像修正、コンポジット作成
12	7月8日	屋外撮影	基礎知識と公園などでレフ版やストロボを使用した実践撮影
13	7月15日	画像修正、コンポジット作成	フォトセッションのデータを使用して画像修正、コンポジット作成
14	7月22日	プレゼン	
15	7月29日	プレゼン	
[成績評価方法]			
授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介]			
担当教員は、出版局写真部勤務を経てフリーランスカメラマンとして活動した経験があり実践的な撮影技術を取得できる授業を展開する。カメラの取り扱いや写真撮影技術を学び、画像修正や編集技術も実践的に学んでいく。			

授業科目名	栄養学	講師名	島田 奈美
実施 学科・クラス	モデル科	分別(必修・選 択・自由選択)	必修
授業方法(講 義・演習・実 験)	講義	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	栄養学の基礎知識と健康を維持するための食生活の実践を習得する。		
授業の到達目 標・テーマ	栄養素の種類と体内での働き、調理の基礎、栄養バランスの整った食事等について学習する。好ましい食生活の実践方法と自身の健康管理の意義について理解を深める。		
企業連携 (連携企業)	なし		
使用教科書 他教材	「かしこく摂って健康になる くらしに役立つ栄養学」ナツメ社(各自1冊) / 「食品解説付き 新ビジュアル食品成分表 新訂第二版」新しい食生活を考える会 / 「調理のためのベーシックデータ 第4版」女子栄養大学出版部 / 「外食・コンビニ・惣菜のカロリーガイド」女子栄養大学出版部 / 「家庭のおかずのカロリーガイド」女子栄養大学出版部(クラスに各1冊) / 必要に応じワークシート・資料配布 / 調理実習器具・食材等		
授業課題	ペーパーテスト(知識・理解)・提出物(技能)・授業評価について学習評価方法に基づき採点する。		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/前期/37.5時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月10日	授業開始にあたっての説明・準備作業等	オリエンテーション、授業や書籍の説明、食事日記の記録について
2	4月17日	栄養素の理解	栄養素の種類と働きについて
3	4月24日	消化・吸収・代謝の理解	消化・吸収のしくみ、代謝とは
4	5月1日	食事の適量と栄養バランスを考える	BMI、エネルギーの収支バランス、主食・主菜・副菜など
5	5月8日	炭水化物の理解	糖質・食物繊維の種類と働き、多く含む食品について
6	5月15日	脂質の理解	脂質の種類と働き、多く含む食品について
7	5月22日	たんぱく質の理解	たんぱく質の働き、多く含む食品について アミノ酸の種類
8	5月29日	調理と衛生の理解	いろいろな調理法、食中毒予防について
9	6月5日	ビタミンの理解①	ビタミンの種類と働き及び過剰症と欠乏症
10	6月12日	ミネラルの理解①	ミネラルの種類と働き及び過剰症と欠乏症
11	6月19日	献立を立てる①	グループワーク
12	6月26日	習得した知識の確認	前期の復習、期末テスト、レポート記入
13	7月3日	自身の食生活を振り返る①	期末テスト返却 / 食事日記の評価
14	7月10日	前期授業内容のまとめ	習得した知識のおさらいと補足、応用
15	7月17日	テスト	テスト
[成績評価方法]			
授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介]			
担当教員は栄養士としてバランスのとれた食生活メニューを提供している。 モデルとしてのプロポーションや体力維持に最適なメニュー作りを指導し、実際に調理指導もする。			

授業科目名	マスメディア論	講師名	福嶋哲平
実施 学科・クラス	モデル科	分別(必修・選 択・自由選択)	必修
授業方法(講 義・演習・実 践)	講義・演習	場所 (校内・校外)	校内・校外
授業科目 概要	雑誌をベースに、ファッション・アパレル業界のメディアとの仕事の仕方、関わり方を学ぶ。 どのようにしてひとつの記事が作成されるのか、企画立案からラフの製作、原稿作成などグループワークを通じて体験的に行う。		
授業の到達目 標・テーマ	ファッション業界におけるメディアの役割を知る。 メディアへの企画・立案、能力を養い、積極的な制作サイドへの提案能力 メディア制作側からモデルに求められる役割を体験的に知る。		
企業連携 (連携企業)	特になし		
使用教科書 他教材	オリジナル・プリント		
授業課題	企画書課題		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/前期/35時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月7日	オリエンテーション	学校イベント
2	4月14日	マスメディアの移り変わりインタビュー	記事のラフ作成、インタビュー記事の作成
3	4月21日	企画書と表紙ラフの作成	
4	4月28日	記事と広告と記事広告について	企業へ持ち込むタイアップ企画の企画書とラフを製作
休日	5月5日		
5	5月12日	アーティストを起用したプロモーション	アーティストの選定、ブランド、作品のピックアップ
6	5月19日	タイアップ記事の制作	グループで限られた商品の中から記事を製作する
7	5月26日	キャッチコピー制作	有名な広告コピーの座学、キャッチコピーの作成
8	6月2日	マンガを使った記事広告の展開	既存マンガを使った広告企画書の作成
9	6月9日		
10	6月16日	記事作成・企画書作成	グループを作って企画書の作成～ラフ作成
11	6月23日	記事作成・素材準備	ラフを元にした原稿作成・撮影・素材準備
12	6月30日	ペーパーテスト	授業内容の振り返り・筆記試験
13	7月7日	記事作成・提出期限	素材を元に記事を完成させる、提出期限日
14	7月14日	記事作成・講評	作成した記事を個別に講評を行う
[成績評価方法]			
授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介]			
担当教員は元株式会社内外出版社の編集者として勤務した経験があり、雑誌を中心としたマスメディアとファッション業界の関りを実務経験に基づいた授業を行う。 グループで企画書とラフを作成し記事を制作する。			

授業科目名	オーディション対策	講師名	伏見 幸恵
実施 学科・クラス	モデル科	分別(必修・選 択・自由選択)	必修
授業方法(講 義・演習・実 技)	講義・演習	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	Macbook		
授業の到達目 標・テーマ	モデルとして仕事をする為に、業界の情報をリサーチし理解を深め、その上で必要な書類作成、オーディション対策を学び事務所所属を目指す。		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	macbook		
授業課題	プレゼンあり。		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/後期/52.5時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	9月2日	授業の説明、自己分析、未来設計、(作成)	資料作成
2	9月9日		資料作成、プレゼン
3	9月30日	好きなモデルについてリサーチ、プレゼン	リサーチ
4	10月21日	モデルジャンル分析(MAP作成)	資料作成
5	11月11日	〃	資料作成
6	11月18日	モデル事務所リサーチ(MAP作成)	資料作成
7	11月25日	〃	資料作成
8	12月2日	〃	資料作成
9	12月9日	〃	資料作成
10	12月16日	プレゼン	プレゼン
11	12月23日	プレゼン	プレゼン
12	1月20日	コンボジ作成	資料作成
13	1月27日	コンボジ作成	資料作成
14	2月3日	コンボジ作成	資料作成
15	2月10日	コンボジ作成	資料作成
16	2月17日	年間まとめマップ	資料作成
17	2月24日	〃	〃
18	3月	〃	〃
19		〃	プレゼン
20		テスト	
21		テスト	
[成績評価方法]			
授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介]			
担当教員は、PR会社にてプレスを経験しアパレルにおける広報業務全般(プレス、スタイリスト業務、など)の経験があり。豊富な実務経験に基づいて、専門知識を習得させ、オーディション対策や就職活動に活かした授業を展開する。			

授業科目名	マナー	講師名	副田 勝久
実施 学科・クラス	モデル科	分別(必修・選 択・自由選択)	必修
授業方法(講 義・演習・実 技)	講義・演習	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	社会一般教養としてのマナーを学ぶ。		
授業の到達目 標・テーマ	ビジネスの世界で生きていく上での基本的スキル・能力の育成を学ぶ。 社会・組織の中で自分のキャリアを築いていく上に必要不可欠な能力を身につける。		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	オリジナル・プリント		
授業課題	マナーについてはロールプレイングを課題とする。		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/後期/60時間	
授業計画及び学習の内容			
回数	月日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	9月	会社とは何か、理解を深める。	会社の役割と目的。
2		職務と職位、組織の理解を深める。	ライン&スタッフ等、会社組織の基本を理解させる。
3		社会人の最初一年をどう過ごすか。	新人としてのマナー、注意すること。
4		ビジネスマナーの実際①	挨拶のマナーについて
5	10月	ビジネスマナーの実際①	面談のマナーについて
6		「接客8大用語」ロールプレイング	「あしかもおおいし」を場面設定してロールプレイングする。
7		ビジネスマナーの実際②「接客5原則」	5原則「挨拶、表情、態度、身だしなみ、言葉遣い」のロールプレイ。
8		苦情処理のロールプレイング①	お客様の苦情を想定したロールプレイング。
9	11月	苦情処理のロールプレイング②	お客様の苦情を想定したロールプレイング。
10		自己紹介①自己分析シートの作成	自己分析シートを作成する。
11		自己紹介②1分間スピーチ	1分間で自己紹介する。
12		身だしなみの基本	身だしなみの心構え
13	12月	コミュニケーションの基本1	コミュニケーションの心構え
14		コミュニケーションの基本2	挨拶、返事、お辞儀
15		話し方と聞き方の基本	言葉選びのマナー
16		電話対応、メール対応	電話対応のロールプレイング
17	1月	敬語の基本	間違いやすい敬語
18		指示について	ほうれんそうについて
19		来客対応	案内、席次のマナー
20		訪問のマナー	これまでのロールプレイングまとめ
21	2月	ビジネス文書①	ビジネス文書の書き方①
22		ビジネス文書②	ビジネス文書の書き方②
23		場面に応じたマナー	マナーの確認テスト
24		テスト	テスト
[成績評価方法]			
授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介]			
担当教員は都内の百貨店にて社員のマナー教育指導を務め、社会人のマナー講師経験もあり、現場で実際に使える、社会人としての基本マナーを習得させる。			